

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

実施機関名(主事業の実施機関名)	国土交通省北海道開発局釧路開発建設部
ふ り が な	ほっかいどうおうだんじどうしゃどう ほんべつからくしろ
1. 事業(施策)の名称	北海道横断自動車道 本別～釧路
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	平成15年度 ～ 令和6年度
3. 事業費(工事費)	約247,200百万円
4. キーワード	新たな技術の導入、防災、地域の活性化、環境保全、情報発信
5. 事業概要	北海道横断自動車道本別～釧路は、高速ネットワークの拡充による釧路圏と道央圏・十勝圏、オホーツク圏の連絡機能の強化や大規模災害時の輸送ルート、広域観光の活性化、水産品の流通利便性、緊急搬送の安全性・速達性等の支援を目的とした延長65.0kmの高速自動車国道である。

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」

ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(a)事業連携 (b)新しい建設技術 (c)既往技術の創意工夫、活用 ()	(c)情報発信 (d)イベントの開催 (g)新しい建設技術 ()
アピールする 2)「秀でた成果」	(a)当該事業による本来目的の効果 (d)生産性の向上 (f)地域の活性化 (i)環境保全対策	(a)当該事業による本来目的の効果 (d)生産性の向上 (f)地域の活性化 (j)環境保全対策

7. 特にアピールしたい点

【ICT の導入・活用による生産性の向上、既往技術の創意工夫、活用】

・3次元データを作成し、ICT 土工に活用。新たな基礎地盤対策工の活用によるコスト縮減。

【防災機能の向上と地域の観光活性化】

・津波浸水エリアの回避と緊急輸送道路の確保。釧路空港を拠点とした広域的な観光の活性化。

【自然環境に配慮した環境保全対策】

・保全対策検討会を開催し、学識者からの助言に基づきモニタリング調査の対応を実施。

【開通に向けた情報発信】

・国・北海道・市町村・民間団体が緊密に連携を図り、SNS を活用した開通までのカウントダウンの情報発信を実施。

8. 事業を代表する写真及びキャプション

北海道横断自動車道（本別～釧路）



阿寒IC



釧路西IC



9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

■ICTの導入・活用による生産性の向上

ICT(情報通信技術)を導入・活用することで、測量から施工までを効率化し、生産性の向上をはかる「i-Construction」推進の取り組みを行った。具体的な内容の一例としては、測量において UAV(ドローン)による地形データを取得し、3次元データを作成することで ICT 土工に活用し丁張り設置作業が不要となることや掘削・盛土の作業を自動制御することで労働力不足や労働災害の軽減、作業効率・精度の向上を図ったものである。

UAV測量



3次元データ作成

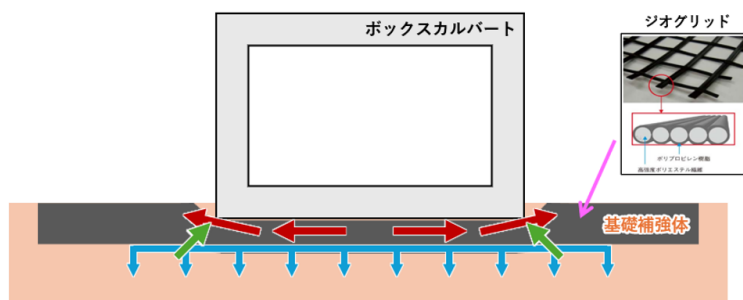
ICT施工



■既往技術の創意工夫、活用

阿寒 IC から釧路西 IC 区間は湿原エリアが広く分布し、層厚15m～40m 程度の泥炭性の軟弱地盤が広範囲に形成されており、構造物の基礎地盤の対策が重要であった。構造物の基礎地盤には一般的な地盤改良(固結工法)や杭基礎のほか、ボックスカルバートの基礎対策としてマットレス工法を基に「巻き込みジオグリッドカルバート基礎補強工法」の対策を行った結果、当該箇所では長期的な安全性及び地盤改良(固結工法)よりコスト縮減が可能であった。

巻き込みジオグリッドカルバート基礎補強工法



ジオグリッド敷設



ボックスカルバート完成



資料：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査（国土交通省）
 ※ 鎌倉全環～R44×R272交差点間で算出。同区間IC～鎌倉西ICの旅行速度は、70km/h（夏期）、67.7km/h（冬期）で算出。
 ※ 令和2年度～令和4年度のETC2.0利用データを用い、夏期と冬期の道路利用者の平均の平均速度を基に、冬期旅行速度の減速率0.967を設定。

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

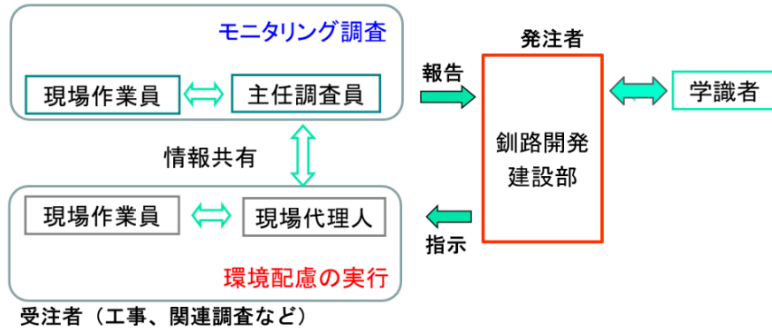
■自然環境に配慮した環境保全対策

北海道横断自動車道(本別～釧路)阿寒IC～釧路西ICの区間では、猛禽類に関する検討会、タンチョウ保全対策検討会及びキタサンショウウオ保全対策検討会を開催し、学識者からの助言に基づきモニタリング調査の対応を実施し、周辺の自然環境への配慮及び保全に努める取り組みを行った。

＜環境保全のための体制＞

＜タンチョウ保全対策検討会の様子＞

受注者（環境調査）



■開通に向けた情報発信

北海道横断自動車道(本別～釧路)阿寒IC～釧路西IC 区間の開通に向け、SNSを活用し広報活動として国・北海道・市町村・民間団体が緊密に連携を図り、開通までのカウントダウンの情報発信を行った。

